

令和8年9月新見市議会定例会
日程第5（市長の行政報告について）

市 長 行 政 報 告

本日、9月市議会定例会を招集いたしましたところ、皆さま方にはご多用の中ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

まず、先般、本市職員が、官製談合防止法違反及び公契約関係競売入札妨害の容疑で逮捕されるという事態が発生し、8月26日に同容疑で起訴されました。

このことにつきまして、市民の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしました。心よりお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

当該職員につきましては、8月26日付けで起訴休職処分としました。

また、当該事業者につきましては、新見市建設業者等指名審査委員会において、8月12日から12カ月の指名停止処分としております。

本市といたしましては、再発防止に向け、8月25日付けで「新見市官製談合再発防止対策検討委員会」を設置いたしました。

今後速やかに第1回目の会議を開催し、委員会において検証などを行い、一刻も早い市政の信頼回復に努めてまいります。

令和8年熊本地震及び令和8年千葉豪雨では、甚大な被害が発生しました。亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

また、北陸地方で発生した記録的な大雨により、被災された皆さまにも心からお見舞い申し上げます。

被災地におかれましては、一日も早い復旧・復興を心よりお祈りするとともに、本市といたしましても、必要な支援を行ってまいりたいと考えております。

さて、8月1日付けで、厚生労働省から福祉に関する専門知識を有する人材として、
ほんだ みさを
本田 深青 氏を派遣いただきました。

福祉政策推進監として、長期的な福祉に関する戦略策定の統括や地域共生社会推進本部の取組をさらに進めていくため、ご尽力いただけるものと期待しております。

最後に、嬉しい話題であります。

先月初めに行われた、「第26回全日本中学生男子ソフトボール大会」において、

新見ジュニアソフトボールクラブが優勝しました。

さらに先日は、「第４８回全国中学校ソフトボール大会」において新見第一中学校ソフトボール部が優勝し、中学生がダブルでの全国制覇を成し遂げられました。

また、「令和８年度全国インターハイソフトボール競技」においては、新見高校・高梁高校男子ソフトボール部が第３位という大変素晴らしい成績を収められました。

これからの新見市を背負って立つ中高生の皆さまの活躍を誇りに思い、全国に新見市の名を轟かせてくださいました選手、関係者の皆さまに改めて感謝とお慶びを申し上げます。

それでは、前回市議会定例会以降の取組などについて、報告をさせていただきます。

まず、「産業・経済」についてであります。

新見市オリジナルＩＣＯＣＡにつきましては、物価高騰対策生活支援事業として、６月１８日に１人１万に一みんポイント、総額にして２億２，８１０万円分のポイント付与を実施いたしました。

引き続き、加盟店の増加に努めるとともに、生活支援事業のポイントを活用し、市内での消費拡大を図ってまいります。

観光振興につきましては、おかやまハレいろキャンペーン２０２６の主要イベントの一つといたしまして、昨日から１０月１２日までの期間、マスキングテープブランド「エムティm t」との連携による「エムティm tプロジェクト新見」が開催されております。

期間中は、新見文化交流館をメイン会場に、市内３か所の会場が、色鮮やかなマスキングテープで彩られ、普段とは異なる特別な空間が演出されています。

このイベントをきっかけに、多くの方に本市を訪れていただき、魅力を知っていただくことで、来年秋に開催される「森の芸術祭 晴れの国・岡山２０２７」への誘客につなげてまいりたいと考えております。

また、本年度の策定を目指しております「観光地経営戦略」につきましては、７月３０日にプロポーザルを実施し、「日本旅行株式会社岡山支店」を委託業者に決定いたしました。

今後、有識者で構成する「新見市観光地経営戦略会議」において、観光地全体として、中長期的に目指すビジョン、及びそれを実現するための具体的な戦略を、「選択と集中」の考え方に基づき、取りまとめてまいりたいと考えております。

雇用の確保につきましては、市内企業への関心を高め、市内就職への意識向上を図ることを目的とした市内企業説明会を、６月１７日に新見高校で実施いたしました。

当日は、市内企業２２社と生徒１５２人が参加しました。生徒が、興味のある企業

の担当者から、仕事内容や福利厚生などについて、直接説明を受ける機会を設けました。

こうした取組により、市内企業の慢性的な人手不足の解消や、地元雇用・地元就職につながることを期待しております。

次に、「健康・福祉」についてであります。

障がい者福祉及び高齢者福祉につきましては、本市の令和9年度からの3年間の施策の方向性を示す指針となる計画を策定するため、8月24日に「第1回障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画及び高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画 策定委員会」を開催しました。当日は、13名の委員の方に委嘱状を交付し、計画策定の概要説明や、今後のスケジュールの確認などを行いました。

また、国際ソロプチミスト新見から、地域の保健福祉事業の充実を図るため軽自動車を寄贈していただきました。今回の寄贈は、国際ソロプチミスト新見の認証30周年記念事業の一環として行われたもので、7月31日に贈呈式を開催しました。

寄贈していただいた車両は、保健師による健康相談や、ご家庭を訪問する際などに活用させていただいております。

次に、「教育・文化・スポーツ」についてであります。

JR姫新線岩山駅駅舎が、本年7月9日付けで国の登録有形文化財として登録されました。

これで、市内の国登録有形文化財は、昨年11月に登録された新見の旧太池呉服店^{おおいけ}店舗兼主屋について5例目となりました。

こうした貴重な文化財を大切に守り、地域の歴史や文化を未来へ受け継いでまいります。

また、7月16日、「哲西の教育を考える会」から、哲西地域2小学校1中学校の統合についての要望書が提出されました。

本市といたしましては、地域の皆さま方の思いを大切にしつつ、子どもたちにとって最適な教育環境の整備と学校の在り方について、今後様々な可能性を考慮しながら検討を進めてまいりたいと考えております。

中学校の部活動につきましては、7月29日に「部活動の地域展開に係る説明会及び意見交換会」を開催し、スポーツ協会専門部やスポーツ少年団など11団体から計30人に参加いただきました。

第2回目の説明会は、8月27日に開催し、団体の代表者だけでなく、地域クラブ設立に意欲のある方などの発掘も目的として実施しました。

今後は、部活動地域展開に係る推進計画の策定や、地域クラブの認定要件を定めることとしており、地域の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、部活動の地域展開が円滑に進むよう努めてまいります。

7月29日には、新見高校のオープンスクールが実施され、市内外から、昨年度より30人多い147人の中学生が参加されました。

当日は、私も伺いましたが、新たに設けられた午後の部では、ゼロハンカーなどの体験活動のほか、工業技術科で製作したピザ窯を使ったピザが振る舞われるなど、「新^{にい}高の楽しさを伝える」様々な催しが行われていました。

中でも、牛の基盤乗りについては、実演とともに一生懸命説明する生徒の姿が大変素晴らしく、積極的に魅力発信に取り組まれる姿に感動を覚えたところであります。

本年度は、新たに、高校への常設コーディネーターを配置し、新見高校の魅力が、中学生や保護者、そして地域にしっかりと届くよう、情報発信の強化に取り組んでおります。

引き続き、新見高校への進学率向上のため、活動を全面的に支援し、その存続に向けて全力で取り組んでまいりたいと考えております。

次に、「安全・生活基盤」についてであります。

防犯につきましては、新見暴力追放推進協議会及び新見地区国際化対策連絡協議会の合同総会が、6月24日に新見警察署で開催され、外国人を含む地域住民の安全確保や、特殊詐欺をはじめとする犯罪被害防止などの情報交換を行いました。

また、7月1日には、明るい地域社会を築くための全国的な運動の実施に先立ち、新見地区保護司会の会長から内閣総理大臣メッセージの伝達を受けました。

引き続き、社会を明るくする運動 新見市推進委員会を中心に、関係団体の皆さまと連携し、安全・安心なまちづくりを推進してまいります。

消防・救急につきましては、救急搬送体制及び各種災害における対応能力の強化を図るため、西方地内の工業団地の一角に整備を進めておりました専用のヘリポートが9月中旬に完成し、運用を開始する予定としております。

また、8月22日に新潟県新潟市で開催されました第54回全国消防救助技術大会のロープ応用登はんの部に、本市から2名が岡山県代表として出場しました。

市民の皆さまの安全・安心を守るため、消防・救急体制の更なる充実強化を図ってまいります。

また、令和8年熊本地震に際しては、本市消防本部から、発災当日に岡山県緊急消防援助隊の第1次隊として、救急隊3名と支援隊1名の計4名を派遣しまし

た。7月31日までに合計3隊12名が現地で活動を行いました。

また、8月7日から11日まで、上水道課職員2名を熊本県八代市に派遣し、給水車による応援給水活動を行いました。

さらに、8月20日から26日まで、県が編成する「チームおかやま（第5陣）」へ職員1名を派遣し、避難所運營業務の支援を行いました。

今後も被災地の要請に基づき、可能な支援を行ってまいります。

次に、「都市基盤・交通」についてであります。

芸備線再構築協議会につきましては、7月16日に広島市で第7回協議会が開催され、昨年から実施してきた鉄道増便を中心とした実証事業の検証結果や、6月から実施しているバスを使用した実証事業の状況などについて、報告されたところであります。

主な内容としましては、実証事業相当の鉄道増便を恒久化した場合の費用として、通年換算では、約8億3千万円の営業費用に対し、約4億1千万円の定量的価値となることが報告されました。

また、平日の日常利用向けバスの実証事業については、高校生を対象としたモニターアンケートにおいて、乗降位置の利便性向上については、肯定的な意見が多かった一方で、通学時間や乗り心地に関しては評価が分かれる結果となり、今後の改善が期待されとの調査結果が示されました。

本市といたしましても、今後の再構築方針案の策定に向けて構成員間でしっかりと議論を進めてまいりたいと考えております。

道路整備につきましては、7月中旬から8月上旬にかけて、備北新線、主要地方道新見勝山線・新見日南線などの各整備促進期成会の会長として、藤澤議長とともに、岡山県、国土交通省、県選出の国会議員などを訪問し、要望活動を行いました。道路の現状や地域の発展に不可欠な幹線道路整備の必要性について、関係機関に地域の声を届けてまいりました。

今後とも市民生活の利便性向上に向けて、これらの道路の早期整備を粘り強く働きかけてまいります。

新見駅周辺まちづくり事業につきましては、当該エリアのにぎわい創出に取り組む地域おこし協力隊として、7月1日付けで、岡地 ^{おかち} 彩果 ^{あやか} 氏を委嘱しました。

現在は「新見駅周辺みらいプロジェクト」に所属し、事務業務のほか、各種イベントや社会実験の企画・運営、SNSによる情報発信などに積極的に取り組んでいるところであります。

次に、「交流・コミュニティ」についてであります。

新見市版地域共生社会構築事業につきましては、7月28日に岡山県議会の総務委員会に所属する議員の皆さまが、本年3月に完成した大竹地域づくりセンターを視察され、組織の活動状況について説明を受けられました。

今後も県のご協力をいただきながら、地域運営組織と連携を図り、地域の課題解決に向けて取り組んでまいります。

また、8月8日に第51回新見ふるさとまつりが、新見駅前通りで開催され、総おどりには昨年を上回る40連約1,500人が参加されました。

本年は、新見高校や共生高校の生徒による踊り連が加わり、若い力が祭りを大いに盛り上げてくれました。

また、市内外から多くの皆さまが集い、地域や世代を超えた交流が深まるとともに、にぎわいあふれる素晴らしい祭りとなりました。

今後も、こうした地域のつながりやにぎわいを大切にしながら、次世代へとつなげ、さらに魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

次に、「広聴・広報」についてであります。

広聴・広報につきましては、7月16日に「正田がんこじいさんの会」の皆さまと市政懇談会「おでかけ市長室」を開催いたしました。各ふれあいセンターへの防犯カメラの設置や脳ドックの助成などについて、ご意見やご提言をいただき、有意義な懇談会となりました。

また、翌日の7月17日には、令和8年度第1回新見市広報戦略会議を開催いたしました。本市の魅力を発信するため、主にふるさと納税のPR方法について具体的な方策などのご意見をいただきました。委員の皆さまからのご意見を参考にし、対外的な広報の充実を図ってまいります。

県や他市町村との連携につきましては、8月3日に鳥取・岡山県境連携推進協議会に出席し、県境の16市町村が抱える課題等について、意見交換を行いました。

また、8月26日には備中県民局管内トップミーティングに出席し、医療人材等の定着支援など、直接、知事に対して本市の課題を伝え、支援を要望してまいりました。

引き続き、知事や各首長と密接に連携し、地方の声を国や県に届けてまいります。

最後に、8月22日にまなび広場にいみ小ホールにおいて、戦没者追悼式を関係者約106名の参列のもと開催いたしました。今後も戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えてまいりたいと考えております。

以上、市政運営の状況につきまして主なものをご報告いたしましたが、引き続き市政の推進にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。